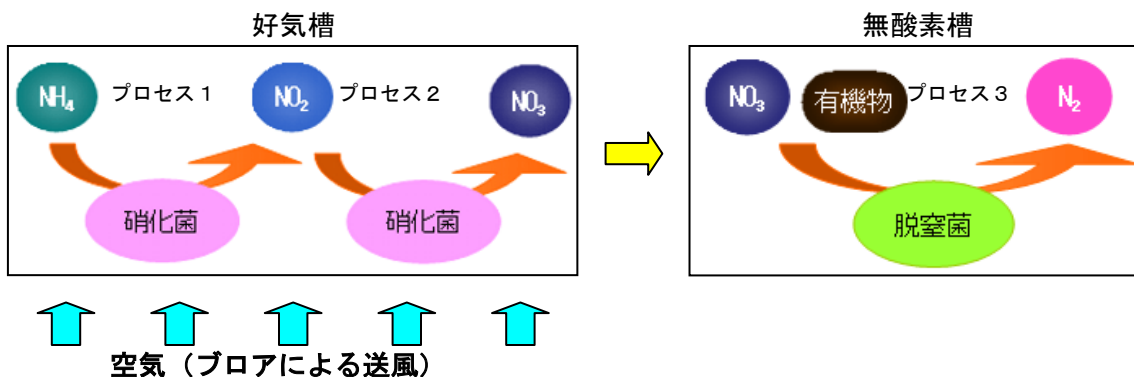


汚泥脱水分離液の嫌気性アンモニア酸化による高速窒素処理に関する共同研究について（概要）

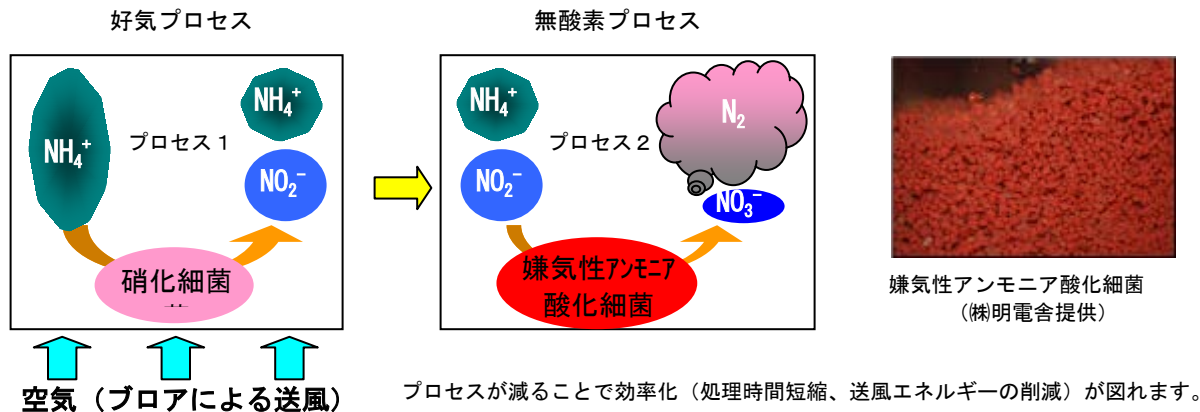
横浜市では海域等の水環境向上に向けて下水の高度処理を導入し、窒素・リンの除去を行っています。また、下水汚泥の処理過程で発生する汚泥処理分離液については、専用の処理施設を建設して対応を図っているところです。しかし、汚泥処理分離液には高濃度の窒素・リンを含むことから、この処理に多くの時間とエネルギーが必要であり、水再生センターにとって、大きな負担となっています。

本研究では、北部下水道センターに実験プラントを設置し、効率的に窒素除去が可能な有用細菌を用いて処理実験を行い、下水道分野での実用化を目指しています。併せて、本市の汚泥処理分離液の処理施設への適用を検討し、水環境の向上を目指します。

○これまでの窒素処理



共同研究を進めている高速窒素処理



○横浜市北部下水道センター内のプラント



横浜市発行 外観



プラント